

(株)ファミリー

可児市・自動車販売

従業員数／男性135名 女性97名 計232名 ※令和6年11月現在

エクセレント
POINT

- ①アプリ活用で社員の意見や情報を共有
- ②育休中も現場の状況を把握でき、復帰しやすい環境
- ③地域の子育て支援など、さまざまな地域貢献活動を実施



育休中の社員が子どもの成長をアプリに投稿することでお互いの近況を把握。

ファミリーでは、社員の提案により、複数の方法で発信していた各社員からの情報を一つのコミュニケーションアプリで発信できるように改善。日報の提出と「ありがとう」メッセージをアプリに切り替えたことから始まり、社長からのメッセージやマニュアル動画の共有など、さまざまなコミュニケーションがアプリを活用して行われている。

お互いを尊重し感謝できる職場環境

卸売業、小売業

育児休業中の社員も、子どもの様子などをアプリへ投稿。経営戦略室主任の後藤ひとみさんは、2人の子どもの出産を経て職場に復帰したが「育休中もアプリで各社員の日報を見られて現場の状況を把握でき、自分の育児状況も伝えられて楽しく過ごせた」と話す。

さらに、社員のスキルアップを図る取組みとして、上司が自分のキャリアや失敗談をアプリを通じて全社員に発信。その他にも作業動画やマニュアル動画をアップしており、社員が空いた時間を有効に活用できる環境が整う。

こうした取組みの成果として、今では「ありがとう」メッセージは多い月に3000通を超え、日頃からお互いのことを気にかけて、感謝する職場の形成につながっている。

地域貢献活動にも積極的で、こみ拾いや中高生へのキャリア教育、



コミュニケーションアプリを活用してお互いの感謝を伝える。

防災備蓄品の購入などを行っている。2021年は、夏休みに社員と地域の子どもの対象とした学童保育を新たに行った。渡邊健実取締役は「家族のようなコミュニケーションを取れる仕組みをもっと増やしたい。社員が生き生きと働く姿をお客様に見せることで、会社の魅力が地域に広まってほしい」と話し、今後も風通しの良い職場環境を築いていく。